

## 早春対談

後藤厚生労働大臣  
に聞くあべ かずひこ ごとう しげゆき  
日身連会長 阿部一彦 × 後藤茂之 厚生労働大臣

新型コロナウイルスの世界的な感染拡大からすでに2年余りが経ちます。コロナによって、大きく変化してきた私たちの日常と、それを取り巻くさまざまな課題について、また、2020東京オリンピック・パラリンピック大会を契機として、どのような変化を社会に期待するのか、後藤大臣にお聞きしました。

なお、新型コロナウイルス感染防止の観点から、対談は文書の交換をさせていただき進めました。後藤大臣をはじめ、関係者の皆さんに心より御礼申し上げます。

日身連  
自身連

発行所  
社会福祉法人  
日本身体障害者団体連合会  
(中央障害者社会参加推進センター)  
あべ かずひこ  
発行人 阿部一彦  
東京都豊島区目白3丁目4の3  
デアダンクビル4階  
TEL 03-3565-3399㈹  
FAX 03-3565-3349  
<http://www.nissinren.or.jp>  
Japanese Federation of  
Organizations of the  
Disabled Persons (JFOD)  
年間購読料 正会員1部 300円  
非会員1部 1000円

## 厚生労働大臣に就任されて

阿部

ご公務のお忙しいなか、このようなお時間をいただきまして、誠にありがとうございます。後藤

大臣におかれでは、衆議院厚生労働委員長や新型コロナウイルス感染症対策本部座長等を担われ、私たち障害者団体としては一層の障害者施策の促進に期待申し上げております。

そして、このように早春対談が実現できたことに心より感謝申し上げます。

後藤

厚生労働大臣を拝命し、国民の生活を生涯にわたって支える厚生労働行政を担当することとなり、その重責に身の引き締まる思いです。

就任直後から新型コロナウイルス感染症の感染拡大に対応した医療提供体制の構築など国民の皆様の安全、安心の確保に万全を期すべく努力してまいりました。

また、「新しい資本主義」の実現に向けて、成長と分配の好循環につながるよう、社会保障の機能強化を図るとともに、障害福祉職員を含めた現場で働く

方々の賃上げを行い、持続的な賃金上昇と消費拡大に取り組んでまいります。障害福祉の現場の方々には、新型コロナウイルス感染症による様々な影響が生じていて、継続して支援を続けていただき、大変感謝しております。

現在、厚生労働省では、障害者総合支援法の見直しに向けた議論を進めており、障害のある方ご本人の願いができる限り実現していくよう、支援の充実を図っていきたいと考えています。

## コロナ禍での障害者を取り巻く環境について

阿部

新しい年を迎えて、また、本年は日本の障害者権利条約の国別審査が行われる予定です。気持ちも新たに取り組んで参りたいと思っております。

さて、新型コロナウイルス感染症の感染拡大から2年余りが経ちます。私たち障害者団体を取り巻く環境は厳しい状況が続いている。団体運営にも支障をきたしている状況が見受けられます。事業活動として、会員



(社福)日本身体障害者団体連合会会長

**阿部 一彦**  
(あべ かずひこ)

# 「障害理解とともに障害者の活躍の場を作ることが重要」

の皆さまとのコミュニケーションは特に大事ですが、感染対策に気をつけ集まっていただける機会を作るなどにも苦慮しながらの現状です。

国においては、障害特性に配慮した感染予防対策を示していただき感謝しておりますが、一方で、地域では感染予防対策に対する不安があります。地域の加盟団体からもコロナ関連の要望を大変多くいただいています。例えば、ワクチン接種の優先に加え、自宅療養者や独り暮らしの障害者に対するケア、さらには大規模な自然災害が危惧されるなかでの避難所の在り方にについて等、実情を踏まえた検討が必要な課題が要望として指摘されています。

また、コロナ禍でICTの利活用も一般的になりつつあります。

後藤

… すが、インターネット環境が不十分であったり、Wi-Fiが使えない、スマホやタブレット操作ができない、あるいは使い慣れない障害者も少なくはありません。こうした実情をサポートしていくのが障害者団体の役割の一つと考えますが、国として、財政的支援措置といったところまで踏み込んでいただけると、団体の長として大変ありがたく思うところです。

難しい課題かと思いますが、大臣のお考えをお聞かせいただけると幸いです。

厚生労働省としては、障害福祉サービス事業所における平時

からの感染症への対応力強化に向けた取組を報酬の中で評価するとともに、サービス提供の継続のために必要な消毒等に係る経費の補助などを実施しています。

また、ワクチン接種に当たつては、地方自治体に対し、重い精神疾患や知的障害のある方にについて優先接種の対象とすることや、視覚障害や聴覚障害などの障害特性に応じた合理的配慮の提供を依頼しています。

コロナ禍において、ICT機器の利活用がさらに進んでおります。近年のデジタル技術の進展はめざましいものがありますが、こうした状況の中で、障害の有無等に関わらず、誰もがデジタル化の恩恵を享受することにより、豊かさを真に実感できる「誰一人取り残されない」デ

ジタル社会の実現が望まれています。

厚生労働省では、これまで障害者のICT機器の利用機会の拡大を図るため、都道府県等のICTサポートセンターの設置や地域におけるICT機器の操作支援などに係る経費の補助を行っておりますが、こうした取組を一層推進することにより、コロナ禍においても、障害のある方の自立と社会参加を支援してまいります。



厚生労働大臣(24・25代)

**後藤 茂之**  
(ごとうしげゆき)

「**日身連には是非リーダーシップを發揮していただきたい**」

**2020東京オリンピック・パラリンピック大会を契機とした社会の変化について**

阿部：東京オリンピック・パラリンピック大会は、コロナ禍で開催を危惧する声もありましたが、私たちに大きな感動を残してくれました。そして、感動だけでなく、アスリートの方々の活躍する姿やチャレンジする姿勢は、社会に大きな影響を与え、障害に対する考え方を変わってきたと感じます。まさに心のバリアフリー促進の後押しになつたのではないかでしょうか。今だからこそ、社会全体で取り組んでいく意義を感じています。

ぜひとも、今大会のレガシーとして、当事者団体、国民、企業、

行政連携のなかで一層加速することを期待します。大会レガシーと障害者施策を結びつけるのは乱暴かもしれないが、2020東京オリンピック・パラリンピック大会を契機に、障害福祉において、大臣として、どのような社会の変化を期待しているかお聞かせ願えますでしょうか。

後藤

：昨年の東京オリンピック・パラリンピック競技大会では、障害のある方々の素晴らしい活躍を拝見いたしました。多くの方々が、その活躍を目にすることで、障害のある方への理解が進むとともに、障害のある方の持つ可能性を感じることができたのではないかと思います。

これを機に、社会のバリアフリーや多様性を認め合えるような社会に変えて行きたいと考えています。つなり化す東京での開催ということでも、テレビやウェブなどの作成等あって、テレビやウェブなどの

メディアでの報道が多くなされ、パラスポーツの体験イベントなどへ参加した方も多くいらっしゃったと聞いています。こうしたことを通じて、ちょっとした工夫により、社会のバリアを取り除くことができるけどや、障害のある方もない方も一緒にスポーツを楽しむことができることなど、障害に対する考え方が変わってきている感じでいます。

これを機に、社会のバリアフリーをさらに進めるとともに、一人ひとりが持つ多様性を認め合えるような社会に変えて行きたいと考えています。つな

る環境整備の促進を図っていただいている。障害のある人が本人の希望することにチャレンジできる社会の仕組みを整備することが肝要です。また、孤立や孤独といった一人の力だけでは解決できない難しい課題等も注視していくなければならぬと考えます。

障害のある人が、さまざまな体験をいかして活動することで、

**地域共生社会における私たちの活躍の場作りについて**

阿部：障害に対する理解とともに、障

害のある人が活躍できる場を作ることも重要です。厚労省におかれても、例えば、就労において、その方の能力が生かされるように、ハード面、ソフト面

における環境整備の促進を図っていただいている。障害のある人が本人の希望することにチャレンジできる社会の仕組みを整備することが肝要です。また、孤立や孤独といった一人の力だけでは解決できない難しい課題等も注視していくなければならぬと考えます。

障害のある人が、さまざまな体験をいかして活動することで、

地域の社会資源を開発していくことが期待されると思います。ぜひ、後藤大臣には、これら一つ一つの課題に取り組んでいただき、地域共生社会の実現をめざして、牽引していただきたいと思います。そして、障害のある人の居場所や出番ということを考えながら、それぞれの活躍でできる場を、ぜひ、お願いしたいと思います。

後藤：地域共生社会を実現していくためには、心のバリアフリーを進めていくとともに、障害のある方々が活躍できる場を増やしていくことが重要と考えています。

厚生労働省では、市町村等における、地域住民に対して障害の理解を深めるためのイベント開催などの取組への支援を行っています。

また、貴団体においては、障害者社会参加推進センターでの活動を通じて、地域における心のバリアフリーの普及に資する取組を進めています。また、「デジタル化が進む中で障害者の社会参加を促進していくためには、情報へのアクセスibilityの確保が重要であり、都道府県等のICTサポートセンターの設置や、サピエなどの障害者がアクセスしやすいネット

ワークの推進、身近な地域でICT機器の操作支援を行うパソコンボランティアの養成・派遣などの取組を進めてまいります。

こうした取組により、社会のバリアフリーをさらに進めるとともに、障害のある方の社会参加を推進していくことで、障害の有無に関わらず、一人ひとりがお互いの人格と個性を尊重し合いながら、共生できる社会の実現に向けた機運が、よりいっそう高まつていると考

阿部

阿部：今回、後藤大臣とさまざまなお話をさせていただきました。日身連は、全国各地域の加盟団体と連携し、60数年にわたり活動を続けております。いつの時代でも、私どもの活動においては当事者参画ということをとても大事に考えてまいりました。「私たちのことを、私たち抜きに決めないで」という言葉は、私たちの活動の根幹です。このことを当たり前にとらえていただけた地域共生社会をめざしたいと考えています。

阿部

阿部：是非、リーダーシップを發揮していただき、地域での取組を推進していくことにより、地域における共生社会の実現にご協力いただくことを期待しています。

厚生労働省としても皆様のご意見を丁寧にお伺いしながら、施策の一層の充実に努めてまいります。

阿部：本日は、お忙しいなか、どうもありがとうございました。今後とも、障害者福祉の一層の向上のためにご尽力いただけますよう、どうぞよろしくお願ひいたします。

皆様お一人お一人にとつて、実り多き素晴らしい一年となるよう、心よりお祈り申し上げます。

後藤

組んでまいりたいと思います。

引き続き、新型コロナウイルス感染症への対策に全力を挙げつつ、国民が支え合ってこの大きな危機を乗り越え、そして新しい時代の幕開けにつながるよう皆さんとともに進んでいきましょう。

◆プロフィール

**後藤 茂之〔厚生労働大臣〕**

1955（昭和30）年、東京都生まれ。東京大学法学部卒業後に旧大蔵省に入省。2000（平成12）年に衆議院議員に初当選し、以後当選7回。国土交通大臣政務官、法務副大臣、衆議院厚生労働委員長（自民党新型「ロナ感染症対策本部座長などを経て現職。66歳。大おじは京都ライトハウスの創設者で、日本盲人会連合会長も務めた鳥居篤次郎氏。

**阿部 一彦〔社会福祉法人日本身体障害者団体連合会会长〕**

宮城県生まれ。ボリオによる左下肢障害。ユニバーサルデザイン2020評議会議構成員、内閣府障害者政策委員会委員、厚生労働省社会保障審議会障害者部会委員、厚生労働省労働政策審議会障害者雇用分科会委員等国の委員会に多数参画。また、全社協障害関係団体連絡協議会会長、日本障害フォーラム（JDF）代表ほか、地元仙台市では仙台市障害者福祉協議会会長、仙台市障害者施設推進協議会会長、仙台市障害者スポーツ協会会长等役職多数。現在、東北福祉大学総合福祉学部教授。

**令和4年2月日身連役員等の各委員会会議等への出席状況**

○1日(火)

▼国交省新たな評価指標にかかる今後の進め方等のWEB説明会・WEB開催／阿部一彦会長

○2日(水)

▼自民党障害児者問題調査会団体ヒアリング・WEB参加／菊地通雄常務理事兼事務局長

○7日(月)

▼日本障害フォーラム(JDF)三役会・WEB開催／阿部一彦会長

○8日(火)

▼公明党障がい者福祉委員会団体ヒアリング・WEB参加／菊地通雄常務理事兼事務局長

▼第42回全国障害者技能競技大会競技委員会・WEB開催／菊地通雄常務理事兼事務局長

○10日(木)

▼厚労省旅館業法の見直しに関する説明会・WEB開催／荻津和良理事、菊地通雄常務理事兼事務局長

○16日(水)

▼新ノーマライゼーション編集委員会・WEB開催／阿部一彦会長

○18日(金)

▼全社協障害関係団体連絡協議会打ち合わせ・WEB開催／菊地通雄常務理事兼事務局長

○24日(木)

○15日(火)

菊地通雄常務理事兼事務局長  
(代理)

○25日(金)

▼国交省特性に応じたテーマ別意見交換会「肢体不自由及び視覚障害・点字ブロック」・WEB開催／菊地通雄常務理事兼事務局長

○28日(月)

▼文科省特別支援教育の在り方を踏まえた学校施設部会第5回・WEB開催／阿部一彦会長

▼第19回日身連財政の安定化に対する検討委員会・WEB開催

▼第5回正副会長会・WEB開催

▼文科省第2回学校施設のバリアフリーア化の加速に向けた取組事例集作成等に関する調査研究検討委員会・WEB開催／阿部一彦会長

○22日(火)

▼身体障害者相談員全国連絡協議会理事会・WEB開催

○24日(木)

▼テクノエイド協会評議員会・WEB開催／阿部一彦会長

▼厚労省第114回労働政策審議会障害者雇用分科会・WEB開催／

**名古屋にお越しの際はご用命ください  
名身連ヘルパーセンター**

会議や観光、コンサートなど、ガイドヘルパーを同行しませんか？県外からのご利用実績多数！名身連旅行センターでホテルや交通の手配も承りますのでお気軽に。

社会福祉法人  
**名古屋市身体障害者福祉連合会**

〒456-0022  
名古屋市熱田区横田二丁目4番16号  
・電話  
法人本部 052-682-0878  
ヘルパーセンター 052-684-7373  
旅行センター 052-682-0878  
・HP <http://www.meishinren.or.jp/>

さわやかな思いやりを広げています

公益財団法人  
**北九州市身体障害者福祉協会**

〒804-0067  
北九州市  
戸畠区汐井町1-6 ウエルとばた6階  
電話 093-883-5555 FAX 093-883-5551

**社会福祉法人  
徳島県身体障害者連合会**

〒770- 徳島市南矢三町2-1-59  
0005 德島県立障がい者交流プラザ内  
TEL 088-631-6266  
FAX 088-631-6211

**大分県身体障害者福祉協会**

**大分国際車いすマラソン大会**



**公益財団法人  
愛媛県身体障害者団体連合会**

会長 河内修二  
愛媛県松山市持田町3-8-15  
愛媛県総合社会福祉社会館内  
TEL 089-921-4772 FAX 089-921-4844

**一般社団法人  
宮崎県身体障害者団体連合会**

会長 永田 照明  
都城市高城地区身体障害者福祉会  
会長 永田 照明

**公益財団法人  
福岡県身体障害者福祉協会**

福岡県春日市原町3-1-7  
福岡県総合福祉センター6階  
TEL 092-584-6067 FAX 092-584-6070

**社会福祉法人  
沖縄県身体障害者福祉協会**

沖縄県八重瀬町字仲座 1038-1  
TEL 098-851-3455  
FAX 098-851-3855

**協賛廣告募集中**

全国の加盟団体を通じてお申込みいただけます  
TEL 03-3565-3399 FAX 03-3565-3349

# ★わたしたちは日身連の活動を支援しています★

包摂的な社会づくりを推進する  
日身連の活動を応援します



ディナミ株式会社  
24時間営業 フィットネスジム  
エニタイムフィットネス加盟

やさしさをシステムに  
障がい者誘導システムの  
**株式会社エクシオテック**



視覚障がい者誘導システム  
緊急避難情報システム  
難聴者用補聴システム  
東京 03-5948-4205  
大阪 06-4301-3269  
東海 052-211-8211

横浜市神奈川区大口通68番地1  
**小畑商事株式会社**  
代表取締役 鹿野 稔  
TEL 045(421)6341(代)

**天皇盃 全国車いす駅伝競走大会**  
IN KYOTO WHEEL CHAIR EKIDEN  
国立京都国際会館前スタート ▷ たけびしスタジアム京都ゴール  
全国車いす駅伝競走大会実行委員会  
京都府・京都市身体障害者団体連合会

麺の総合メーカー  
「おいしい。」「うれしい。」「笑顔になります。」  
**やま一**  
YAMAICHI  
〒859-2113 長崎県南島原市布津町丙 1763-1  
TEL0957-65-1110 FAX0957-72-6887

**洛作**  
東京都中央区明石町 14-19  
電話 03-3541-2391  
www.jisaku.co.jp

**富田将孝税理士事務所**  
税理士 **富田 将孝**  
〒901-2121 沖縄県浦添市内間2-6-3  
TEL 098-979-5642 FAX 098-979-5643

**公益社団法人**  
**東京都身体障害者団体連合会**  
会長 小西慶一



スピード封筒印刷.com

印刷のプロ達から年間250万枚受注

スピード伝票印刷.com

印刷のプロ達から年間5万冊伝票受注

スピード会社案内印刷.com

オシャレな会社案内パンフレットが簡単に!

スピード冊子印刷.com

冊子印刷・製本専門店!各種製本に対応!

スピード挨拶状印刷.com

挨拶状専門店!プロの最終校正で安心確実!

スピード賞状印刷.com

心に残る賞状を美しく、格安、スピーディーに!

山田運送(株)貸切事業部  
**東和観光バス**

宮城県仙台市宮城野区  
日の出町3丁目3番9号  
TEL 022-355-5708

ホテル **XSLVIRLK** 仙台

仙台市宮城野区榴岡5-6-51  
TEL 022-792-8130  
FAX 022-792-8122



**関彰商事株式会社**  
茨城県つくば市二の宮 1-23-6 TEL.029-860-5151  
www.sekisho.co.jp/

**日身連協力会**  
福田 正義

栃木県栃木市万町12-11  
TEL・FAX 0282-23-7342

認定NPO法人  
**ハートフル福祉募金**

仙台市太白区郡山8-2-28  
TEL 022-246-5747  
URL https://www.hfv-bokin.jp/

**厚生労働大臣杯**  
全国身体障害者ゴルフ大会  
**TSU COUNTRY CLUB**

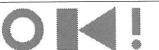
新潟県知事登録第62099号  
一般用電気工事工作物  
**長谷川電気工事**  
代表 長谷川良一  
新潟市西区五十嵐3の町北8-23  
TEL 025-261-0618

**静岡市身体障害者**  
福祉事業協会  
理事長 青木憲一  
静岡市葵区城内町1番1号

コットンで未来をつむぐ  
人と地球の未来を想う、グローバル・コットン・カンパニー  
**丸三産業株式会社**  
〒795-8508 愛媛県大洲市徳森1349番地  
TEL 0893-25-5132  
FAX 0893-59-4012  
https://www.marusangyo.co.jp/

**中村ブレイス** 株式会社

島根県大田市大森町ハ132  
TEL 0854-89-0231  
FAX 0854-89-0018



生きる誇りへの、挑戦!

社会福祉法人 **南高愛隣会**  
理事長 田島光浩

名もなき一日を走る。  
**長崎バス**

D-solution 在宅就業支援団体  
登録番号 1300003

**株式会社ディーソル**

東京都中央区日本橋人形町 1-8-4  
Tel 03-3668-4361  
Fax 03-3668-1420

**世界遺産の島 五島列島**

**九州商船株式会社**  
長崎市元船町16-12

TEL 095-822-9156  
FAX 095-824-3128

全市町村で障がい者差別解消条例の制定を!

社会福祉法人 **山形県身体障害者福祉協会**  
会長 松田英雄

山形市大字大森385番地  
TEL:023-686-3690/FAX:023-686-3723

TOTAL SECURITY COMPANY

防犯警備 アスカ

ASUKA

ASUKA